

プレスリリース

2012.04.06

西友、290 店舗への LED 照明の導入などで節電対策を強化

2012 年末までに電力消費量 20%削減を目指す

合同会社西友は、4 月中旬より順次、290 店舗に LED 照明を導入することを決定、また、設備機器の改善などその他の節電対策を一層強化することで、2012 年末までに電力消費量 20%（2011 年比）削減を目指します。

今回 LED 照明を導入するのは、主に、24 時間営業店舗の天井照明における直管型ランプ、ダウンライト照明と外灯です。また、物流センター、精肉加工センターにおいても、天井照明等に LED 照明を採用いたします。これらに加え、老朽化した冷凍設備システムの入替え、空調機及び冷ケースの冷却水ポンプの効率改善も実施します。

また、昨年全店舗に導入が完了した「多店舗エネルギー・トータルマネジメント・システム（以下 EMS）」の活用も強化し、電力消費量を削減いたします。EMS は、店舗運営のために必要なエネルギー消費の大半を占める設備機器（照明、空調、冷凍・冷蔵機など）をネットワークで結び、一元管理を実現、遠隔地からの制御を可能にした全店舗対象の統一システムです。同システムの導入により、電気、ガス、水道などの消費エネルギーの「見える化」が可能となり、設備稼働状態の監視と制御の精度が大幅に向上しました。各店舗では、EMS より得られた情報を基に省エネ施策を立案・実行しております。

西友では、「Saving people money, so they can live better.（お客様に低価格で価値あるお買物の機会を提供し、より豊かな生活を実現する）」というミッションのもと、親会社のウォルマートと共に、「エネルギー」分野に加えて、「廃棄物」、「商品」、「コミュニティ」、「従業員」に関する取り組みなど、サステナビリティ活動（持続可能な社会の実現）に幅広く取り組んでいます。詳しい取り組み内容や実績については、西友ホームページ内「サステナビリティ・ページ」をご覧ください。<http://www.seiyu.co.jp/company/sustainability/>